

No. 17
31 October 2007

日本・パプアニューギニア協会会報

ごらくちよう

Bird of Paradise

発行 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会

発行日 平成19年10月31日

編集 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会広報部 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館6F(ニューギニア航空日本支社内) TEL 03-5216-3555 FAX 03-5216-3556

パプアニューギニア選挙戦

大川 幸樹 (在PNG日本大使館 当協会会員)

パプアニューギニアでは先の6月から7月に総選挙が行われ、8月6日に選挙結果が確定、8月13日の国会でマイケル・ソマレ氏が再度首相となりました。先のソマレ政権は5年間の任期を全うし、今回の選挙は前回よりも比較的混乱が少なかったため、政治の安定への期待が高まりつつあります。

ここでは実際の選挙戦の雰囲気がイメージできるよう、現地在住の日本人の目から見て興味深かった点をいくつかレポートしたいと思います。

*5月10日、立候補締め切り。登録料の千キナ(約4万円)を集めきれず、午後4時の立候補締め切りにぎりぎり間に合わなかった候補者達が、選挙管理委員会事務所の外で5年後の再起を誓った。109の議席に対して、最終的に全国の立候補者は2759名。有権者数が390万人なので、日本に当てはめれば、一つの市長



ポートモレスビー近郊、タタナ島での投票風景

選挙に25人が立候補しているようなイメージである。
*ポストクーリエ紙による108頁の選挙特集号「Who's next?」によれば、「選挙運動ではいけないこと7カ条」は、①銃や武器を使用しない、②強制や脅して投票させない、③施設を破壊しない、④複数回投票しない、⑤投票箱、投票用紙を盗まず、選挙職員を困らせ

ない、⑥収賄しない、⑦贈賄しない。投票箱や投票用紙の奪い合い、二重投票といった問題に係る報道は、ハイランド地方からより多く聞こえてくる。人口が多く、選挙区も多く割り当てられているハイランド地方は、地理的にも社会的にもPNGの中心といえよう。

*選挙運動の多くは、数台のバスを借り上げてパレードのように町中を回って投票を訴える形式が多い。個別に目立ったものは、蘭の花栽培業者のジャスティン・タチェンコ議員が山肌に白く塗った石を並べて「Vote

Justin No. 11」というサインを作ったり、NCD知事のワリ・ベレ議員が「投票用紙に12と書いてください」というテレビCMを連日放送したりしたことだった。(注:今回の選挙では候補者の番号を書くことで投票が可能)しかし、結果は両候補とも落選。PNGではタレント候補でも苦戦するようだ。
*7月6日、ポートモレスビーでの投票を視察した。違法行為の報道もあるが、実際に見

る現場はとても穏やかである。投票前の選挙人名簿の確認に時間がかかるほか、小選挙区と州選挙区の二つの選挙に対し、それぞれ3名の候補者を選ばなければならないので、投票を終えるまでには長い時間がかかるようだが、皆辛抱強く列に並んで待っている。開票作業もそうだが、急がずのんびりと物事を進めるのがPNGらしい。

“二人のPNG青年、アカ君、スケネ君、武相マラソン(町田)出場のため来日”日記

志村 容一(当協会会員)

29日、当日。朝3時頃よりソワソワ……もう起きている。4時頃、自宅の前を数回行ったり来たり。軽く朝食をとり、いざ競技場へ。

1700人程のランナー。二人とも圧倒されているに違いない。マウエ大使一家も応援にかけつけている。遠く群馬県より21センチュリークラブの面々、日本・PNG協会のスタッフ……スタンドの一部を占領してPNGの応援……二人はかなりのプレッシャーだったに違いない。スタート前、アカ君が“日本のマラソンランナーは大きい”の一言。高校生の彼らには、さぞ大きく見えたんだろう……15kmという長い道のり。武相マラソンは国内でも坂道が多く、難関が多いので有名……消防のレスキュー、警察のエキスパート、マラソンを専門とする者……各々の精鋭がスタンドに入ったすぐ後、アカ君、スケネ君がスタンドに入ってきた。すごい声援の中、二人は完走、ゴールした。途中、接触事故があり、救援した為、何名かに抜かされたとか。初めての国。初めてのコース。初めての対戦相手にも関わらず、二人はよく健闘した。この日、近くの温泉に行った時、初めてゆっくり浸かる二人の姿を見て“安堵”を感じた。



マウエ大使はじめ大使館のメンバーと東京見物etcまで多くの会社を見学し、何を学べたのだろうか。帰国後、PNGの発展につながるヒントに結びつけられれば幸いである。帰国前日、唯一の東京観光。外国人専用のはとバスツアーに参加した。中でも地上150mの東京タワーから見る東京の一望に驚きは隠せない。浅草での人込み、メンバーから何やらお土産をプレゼント。

5月5日、もう帰国の日である。私の祖母からオーダーメイドのシャツをプレゼントされ大感激。毎朝、散歩した愛犬ナツちゃんとも最後の散歩。午後3時、二人を乗せたバスは一路成田へ出発。ベイブリッジから見える横浜、羽田空港、有明、ディズニースクエア……しっかりと脳裏に焼き付けるかのように見ている二人の視線。



今回、お世話になった方々と

成田の出発ロビー。それは赤く涙で潤んでいた。マウエ大使がポートモレスビーまで一緒との事、一安心。

皆様、大変お世話様でした。無事に二人を帰国の途にすることが出来ました。本当にご協力ありがとうございました。

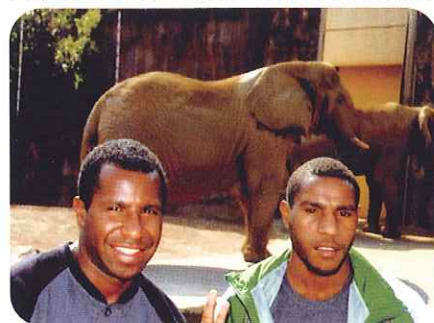
東京町田クレインライオンズクラブ
会長/志村容一
チャリティー委員長/成岡圭子
YE委員長/金子安男
PNG委員長/小玉一男



ゼッケン1番がアカ君、2番がスケネ君

30日、午後よりPNGにはあまり動物がないと聞き、多摩動物園へ。日本猿、チンパンジー、そしてゾウ。どれを見ても釘付け。帰国してからの話題のひとつになるであろう。

翌2日間は我々メンバーの事業所訪問。精密機械、農業、建築、食料関係



多摩動物園で初めて象を見る

ニューギニア戦を語り継ぎたい

黒田 節夫(当協会会員)

私とパプアニューギニア(以下PNGと略)との接点は、写真でしか知らない叔父の戦没地であるということだけでした。しかし、二年前の主としてウェワク現地慰霊への初参加で関心が高まり、終生忘れられない国となりました。



ウェワク飛行場付近

「ニューギニア戦」の歴史を振り返りますと、今やっと無名から有名?になった「ニューギニア戦」ですが、戦時中の報道は本当に僅かでした。戦後九年にして、初めて発刊されたニューギニア戦の著書「南十字星」(元第18軍参謀長吉原矩著)以後、年々、同戦に関する著書が右肩上がりに続々と世に出て、ニューギニア戦に関する情報がだんだんと世間に明らかになりました。



私、ウェワク平和公園にて

私は今年の夏で世に出た著書のほとんどを一通り読み終わりました。その中の一冊である「戦場パプアニューギニア」(奥村正二著)によると、あの戦争で何の罪もないPNGの人々も犠牲になられた。4万人説、3万人説、不明説等があるようですが、戦争の実態、実相をソグレイ国立高校では、高校の先生がPNGと豪州兵との関わりを主題とした手作りの教科書で教えられていると書かれてあります。

また、豪州人監督作成のビデオ「戦争の天使たち」もPNGで教えられていることを知りました。それに比べ、日本の官立高校の教科書は国定で、内容はいかなるものでしょうか? 約1万人の将兵が帰

還できたのは、心優しいPNGの人々のお蔭であったことを知っている先生はいるのでしょうか？

ところで、最近、新刊の「ニューギニア太平洋戦争紀行」(西村誠著)や「赤道直下の宝箱 旅するパプアニューギニア」(山口由美/文)を読み、あらためて感動しました。

それに比べると、団塊世代の微力の身ですが、まだ解からない点が多い陸軍航空部隊の秘話、悲話を今後も研究し、語り継ぐ一人になりたいと思います。

会員の皆様からの御教示や情報提供をお待ちしています。

SERIES

PNG最高峰

ウィルヘルム山登頂記 ③

賀部 祥平(当協会会員)



賀部 祥平(かべ しょうへい)

当協会会員。2005年1月にパプアニューギニア最高峰の「マウントウィルヘルム」へ登頂。2005年11月発行の「パプアニューギニア ソロモン諸島 トラベルガイド」の取材及び撮影の為にパプアニューギニアを訪れ、その後もパプアニューギニア各地を旅する。2005年11月22日にラバウルで開催された「南太平洋盆踊り大花火大会 2005」では、大会実行委員の一員として参加。

ピウンデ湖ロッジから山頂へ ①

持参した目覚まし時計で目を覚ますと、出発まで1時間前の午前0時でした。屋根に打ち付ける雨の音、かなり強く降っているようです。雨季であるこの季節、雨の中での登山も覚悟はしていましたが、やはり憂鬱になります。

そして出発時間の午前1時。あのドシヤ降りか嘘のように止んでいます。外へ出るとそれ程寒くありません。しかし真っ暗で、装備したヘッドライトを点けないと何も見えません。少なくとも日の出までの5時間位はヘッドライト頼りでの登山になりそうです。



雄大な景色を前にホットひと息



ベテラン揃いのポーター



森林限界を超えた岩場

そしていよいよ標高4,509mへアタック開始です。予想以上に長靴に付けた簡易アイゼンが威力を発揮しています。体調も体力もまだ問題ありません。話によればウィルヘルム山に限らず、4,000m級の山ともなるとリタイヤする人も結構いるらしいのです。体力的な問題以上に高度障害でのリタイヤがほとんどだそうです。

出発して2時間はたったでしょうか、すでに森林限界を超えています。場所によっては、落ちたらかなり危険と思われる崖もあります。暗いので崖下は見えないのですが、かなり高い崖であることに間違いはないでしょう。しかし、見えないことで恐怖心もなく登れているのかもしれない。

そして急な崖を登り終えると、先頭のガイドが空を見上げて何か言っています。私は空を見て全身が硬直しました。満天の星空が私の目に映ったのです。それは今までの人生で見た星空の中で間違いなく一番の星の数でした。あまりの美しさに言葉が見つかりません。全員がヘッドライトを消し、満天の星空を全身で感じました。そして生まれて初めて見る南十字星。疲れも寒さも忘れ、ただその美しい星空を眺めていました。出発前にあれだけ降っていた雨が嘘のようなすばらしい星空に大満足です。

そしてこの満天の星空の下、頂上目指してまた歩き始めます。



神秘的なピウンデ湖の眺め

日本・パプアニューギニア協会 法人会員紹介 第10回

「みなさん、こんにちは。」
「コスモメディア株式会社です。」

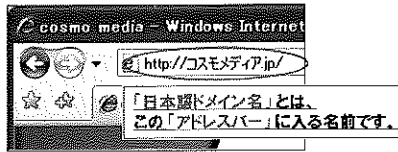
〒116-0013 東京都荒川区
西日暮里5-6-10
TEL03-5604-8611
FAX03-5604-8613

「日本語ドメイン名」取得 「無料キャンペーン」実施中!

弊社は、1996年にインターネット接続サービスプロバイダとしてサービスを開始し、1998年からサーバホスティング、及び、ドメイン指定事業者としての事業をスタートさせ、現在では主に企業向けのインターネットサービス関連のお手伝いをさせていただいております。

今回、ご案内するのは、ホームページの住所を示す「ドメイン名」についてです。

弊社のドメイン名は社名そのまま、「cosmomedia.co.jp」ですが、申請が早かったため、運よく社名そのもので取得することが出来ました。このドメイン名は、「早い者勝ち」での登録となりますので、この記事をお読みになっている方々の中には、既に他の会社等に取得されていたためにご希望の文字列を取得できず、口惜しい思いをされている方もいらっしゃるのではないかと思います。



今でも、ドメイン名は、英数字のものが一般的ですが、実は、「日本語ドメイン名」は2001年春にリリースされています。しかしながら、昨年までは「日本語ドメイン名」を使うためには専用のソフトが必要で、普及が大幅に遅れていました。昨年秋、マイクロソフト社のエクスプローラの新バージョン(IE7)がリリースされてからは標準でサポートされ、今春新発売のWindows Vistaには標準搭載されましたので、今後は、需要が爆発的に増えると思われれます。

この日本語ドメイン名の登録もこれまでと同様に「早い者勝ち」。利用環境が整った今年が普及元年と言えますので、まだまだ、希望の文字列を取得できる可能性があります。大手企業の多くは、既に、社名等は取得されていますが、特に、一文字、二文字のドメイン名は希少価値ですのでお早めに。ちなみに弊社では、社名の「コスモメディア.jp」、サービス名の「ジャー.jp」を、また、個人では「村越.jp」を取得しておりますが、日本語ドメイン名は誰でも自由に登録できるので、勝手に社名や商品名などの固有名詞を登録して高価で買い取るように働きかけられるビジネスも出てきています。ですから、他人に取得される前に押えておく事をお勧めします。また、日本語ドメインは、既存のページに転送が可能ですので、既にホームページをお持ちであれば、直ぐにご利用が可能です。

現在弊社では、初期登録料と1年分の管理費「無料キャンペーン」(通常価格6,300円)を実施しております。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。http://jah.jp/

事務局からのお知らせ

第5回 パプアニューギニア独立記念 チャリティー・ゴルフ・トーナメント

パプアニューギニア大使館

2007年9月22日、21世紀クラブ富岡ゴルフコース(群馬県)にて恒例の「パプアニューギニア独立記念チャリティー・ゴルフ・トーナメント」が開催されました。当日は幸いにも天候に恵まれ、総勢135名の方々にご参加いただき、熱戦が繰り広げられました。

本年度の優勝者は、山田信二様に輝き、PNG独立記念杯と副賞の極楽

鳥金飾りを受賞されました。また抽選会では、野中長壽様が特賞のパプアニューギニアペア航空券に当選されました。



参加者全員で記念写真

分科会のアイディア

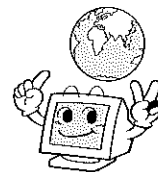
昨年度の理事会、総会で結成されました分科会ですが、みなさまからのご意見、ご要望、アイディアを常時受け付けています。事務局までご連絡ください。

お詫び

「ごらくちょう16、2ページ目“第4回理事会、総会を開催しました”の谷口会長と山下新会長が握手をされている写真は、当協会会員工藤茂道様からのご提供でした。記載漏れがありましたことを深くお詫び申し上げます。

編集後記

今回、PNG在住の大川さんとは原稿のやりとりをメールでしました。PNGとメールです! 私がPNGに初めて関わった17年前には、考えられないことでした。(佐藤 直子)



日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的として、文化、学術、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

申し込み方法 / 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。
年会費 / 個人会員 5,000円 法人会員 50,000円 PNG人 1,000円
会費受付 / 郵便振替口座をご利用ください。

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。
*会員数 2007年9月末 法人会員 / 17 個人会員 / 77

口座記入者名 / 00140-2-277582
加入者名 / 日本・パプアニューギニア協会
問合せ先 / 日本・パプアニューギニア協会 事務局
〒102-0074
東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館6階
(ニューギニア航空日本支社内)
電話:03-5216-3555 FAX:03-5216-3556
E-mail:info@air-niugini.co.jp